

第6回作業科学を実践につなげる研修会案内 募集要項

「作業科学を実践に繋げる研修会」を大阪で開催いたします。今回は、作業的存在を理解することを目的とします。内容は、作業療法と作業科学について、作業科学のいくつかのコンセプトについて触れた後、自分自身を作業の視点で理解します。また、現在検討中ではありますが、作業科学の知識を実践に応用する事例報告とワークショップを企画しております。作業の視点で自身や他者を理解することが実践に繋がると考えております。皆様の参加を心よりお待ちしております。

会期：2020年5月9日（土）13:00～17:00（受付12:30～）

5月10日（日）9:00～14:50（受付8:45～）

会場：大阪医療福祉専門学校（〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-2-14）

●地下鉄御堂筋線 新大阪駅2番出口徒歩1分

●JR新大阪駅 3F北口改札を出て新大阪阪急ビル経由徒歩1分

(<http://www.ocmw.ac.jp/access>)

プログラム：

初日（5月9日）

時間	内容	講師
12:30～12:55	受付	
12:55～13:00	開会挨拶	
13:00～15:00	作業療法と作業科学 作業科学とその概念	西方浩一（文京学院大学）
15:15～17:00	ワークショップⅠ 作業的存在の理解	渡辺慎介（YICリハビリテーション大学校）
18:00～20:00	懇親会（会場近辺で）	

2日目（5月10日）

8:45～9:00	開場・受付	
9:00～10:30	ワークショップⅡ 自らの日常を作業の視点で理解する	渡辺慎介（YICリハビリテーション大学校）
10:45～12:10	ワークショップⅢ 事例で学ぶ「作業科学を実践につなげる」①	大谷将之（障がい者支援センター てらだ） 安田友紀（東大阪病院）
12:10～13:00	昼食休憩	
13:00～14:30	ワークショップⅣ 事例で学ぶ「作業科学を実践につなげる」②	大谷将之（障がい者支援センター てらだ） 安田友紀（東大阪病院）
14:30～14:50	閉会挨拶・アンケート記入	

定員：50名（会場収容人数の関係で50名に達し次第その後はキャンセル待ちとします）

※最少催行人数を30名に設定させていただきます。〆切日に30名に達しない場合は研修を中止にします。また、当日参加は受け付けませんので早めの申込をお願いいたします。

※本研修は両日参加することで学びを得ることができる内容となっております。原則両日参加とします。キャンセル待ちが発生した場合は両日参加の方を優先します。

参加費：両日参加；日本作業科学研究会 会員 5000円 非会員 8000円

1日参加；日本作業科学研究会 会員 3000円 非会員 6000円

問合せ先：専門学校 YIC リハビリテーション大学校 作業療法学科 渡辺慎介

〒759-0208 山口県宇部市西宇部南4丁目11番1号 E-mail：s-wnabe（あ）yic.ac.jp

（あ）を@へ置き換えてください

申込先：E-mail；[practiceworkshop](mailto:practiceworkshop@isso.jp)（あ）isso.jp（あ）を@へ置き換えてください

申込〆切：2020年4月27日（月）18：00まで

※①氏名，②ふりがな，③所属，④職種，⑤都道府県，⑥メールアドレス，⑦電話番号，⑧日本作業科学研究会会員・非会員，⑨懇親会参加有無，⑩両日 or 1日参加の明記（1日参加の場合どちらに参加かを明記），を明記の上，申込先アドレスまでお申込み下さい。申込後参加受付の返信をいたします。また，問い合わせはメールのみでお願い致します。